

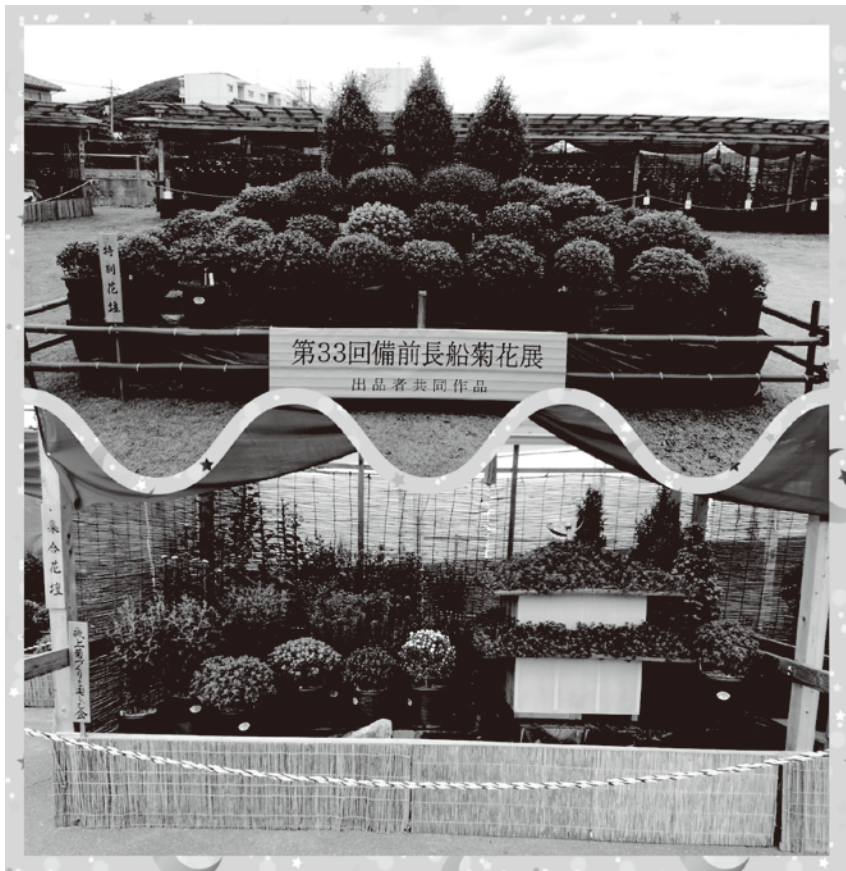
(1) 公園の整備について

瀬戸内市には公園と名のつくものは瀬戸内市スポーツ公園条例にある邑久スポーツ公園と長船スポーツ公園の2カ所、吉井川河川公園、児童遊園地条例で山田庄の邑久児童遊園地と虫明児童遊園地、長船美しい森にも遊具や芝生広場があります。このほかに地域児童遊園地が考えられます。そして、スポーツ公園は教育委員会、吉井川河川公園、美しい森は産業建設部、児童遊園地は保健福祉部、地域の子育て広場は子育て支援課ということになるのでしょうか。こんなにいろいろな部署にまたがっていて、条例も所管も別々というのではとても管理ができないのではないのでしょうか。

市は、こどもひろばに力を入れるということで、10月からこどもひろば整備担当職員を採用しました。せっかくこどもひろば整備担当職員（課長級）をおくのであれば、まず、市として条例や所管を統一して、公園課を設置するべきだと考えます。

くさかとしこの主張

子育て広場は子育て中のお母さんたちが集う場所、そして地域住民も一緒につながっていける場所です。公園で同じ地域で子育てをしている仲間を見つけ、子育ての悩みを相談し合ったり、「なあんだ、こんなことに悩んでるのは私だけじゃないんだ。」と、随分楽になって救われた思い出があります。公園の存在価値は、そういうところにあるのではないのでしょうか。身近な公園があり、一緒に子育てする仲間がいること、気軽に声をかけたり支えてくれる地域の人がいること、それが子育てに必要なことだと思います。その子育ての基盤となる地域の公園も、しっかり行政がサポートする必要があると思います。



10月20日から長船町公民館で、『第33回備前長船菊花展』が開催されています。今年もすばらしい作品が集まっています。菊は冬の土づくりから始まって、春から冬至芽を育て、さし芽をし、一年かけて大事に育てます。つぼみの時、咲き始め、満開と様々な顔を見せてくれます。11月17日まで開催しています。ぜひ、何度でも見にお出かけください。今年も【磯上菊づくりを楽しむ会】では、集団花壇を出展しました。去年よりグレードアップした黄金のお寺が現れる予定です。楽しみにしてください。

今回も私の拙い行政報告にお付き合いいただきまして、ありがとうございます。もっともっと勉強して頑張りますので、ぜひ皆様の感想等、何かの折に声をかけてやってください。

行政 NEWS

とっしん

vol
26

台風19号の被害に遭われた地域の方々、お見舞い申し上げます。幸いにも瀬戸内市には大きな被害はなかったようですが、決して他人ごとではありません。

昭和20年、昭和51年、平成2年と、3度も床上浸水を経験している我が地域にとっては、身につまされます。こういった経験をするたびに、防災の必要性を痛感します。今後とも、災害情報の伝達の問題・避難所の問題・避難方法の問題に、しっかり取り組んでいきます。また、油杉川の排水の問題・干田川の排水の問題にも、しっかり取り組みたいと思います。排水は、農地を守るだけでなく民家を守る、人の命を守るのですから、その必要性をしっかり声を上げていきます。

皆さまには本当にいつも、温かく見守っていただき、そして励ましていただき本当にありがとうございます。私はいつも、皆さまの声を市政に届けていきたい、その思いでいます。その思いは、今もこれからも変わることはありません。引き続き力強いご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

今回の 一般質問

- (1) 公園の整備について
- (2) 有害鳥獣対策について

を取り上げさせていただきました。

(2) 有害鳥獣対策について

有害鳥獣対策につきましては、まだまだではありますが、対策をずいぶん前へ前へと進めていただいていることに本当に感謝しています。

平成28年4月には、瀬戸内市にだけなかった【鳥獣被害対策協議会・鳥獣被害対策実施隊】を立ち上げることができました。

鳥獣被害の対策としては、環境整備・侵入防止・捕獲を総合的に行うことが大切です。

平成29年には市役所に有害鳥獣対策室が設けられ地域おこし協力隊を採用していただきました。

平成29年から、侵入防止策として、集落柵に対し国・県から1/2の補助に1/4の市独自の乗せ補助ができるようになりました。

またそれまで補助されていなかった猟期中の捕獲に対しても、1頭6000円の捕獲補助金ができるようになりました。

現在、猟友会の会員が58人、一年を通しての捕獲が認められている狩猟班の人数が21人です。

捕獲数(H30実績)		
	猟期(11/15～3/15)	猟期以外
イノシシ	181頭	272頭
鹿	81頭	103頭
期間	4カ月	8ヶ月
人員	猟友会 58人	駆除班 21人

くさかとしこの主張

狩猟班の高齢化の問題は、瀬戸内市も例外ではありません。今のうちに、世代交代をはかる必要があると思います。そのためにも、狩猟班の人数を増やす必要があります。

しっかり、若い人を育成しないと将来の狩猟班の継続が不可能です。今ならまだ間に合います。しっかり若い人にも門戸を開いて、技術の引継ぎをしなければいけません。真庭市や美作市は、猟友会＝狩猟班です。

もちろん、鉄砲をとったばかりの人がいきなり狩猟はきびしいところもあると思います。そこは、規約をつくるとか、わなだけにするとか、やり方はきっとあるはずです。

市の裁量にまかされているのは、狩猟許可の認定だけです。そこは、猟友会としっかり話をして、少しでも多くの人で捕獲ができるようにするべきと考えます。

2019年 山陽新聞 東備版 に
9月6日 掲載されました。

市内でも捕獲数が増えている有害鳥獣について、日下俊子氏が対策を質問した。産業建設部長は、住民団体が集落と山林を隔てる防護柵を設けた場合、費用の一部を県と市が補助する対策を説明。『効果を高めるため、緩衝帯の整備をモデル事業として進める。効果が実証できれば、他の地域でも取り組める制度にしたい』と述べた。対象となるのは、補助事業で防護柵を設置している団体。このうち、緩衝帯を設ける団体に、10ヶ所当たり2万5千円を交付する。

令和元年 11月5日発行
発行責任者 瀬戸内市議会議員

くさか としこ

〒701-4273
瀬戸内市長船町磯上 569
TEL/FAX 0869-26-6420
携帯 TEL 090-5702-8336
ホームページ
<http://www.kusaka-toshiko.jp/>



行政報告

地方創生推進交付金活用事業 ～アートからはじめる歴史と文化を活かしたまちづくり事業～

8月議会に地方創生推進交付金活用事業の予算が提出されました。3年間で1億4千万円の事業で、国から7千万円助成されますが、のこりの7千万円は税金を投入しなければならない事業です。この事業が突然8月議会に計上された経緯をまずご説明します。

地方創生事業の本来の目的は、市の魅力をアップし、人口減少を食い止めるというもの♪

- 平成30年予算で、地方創生事業の調査をプロポーザルで、委託
- 発注業者は、瀬戸内 Kirei 太陽光発電所を運営している、くにうみアセットマネジメント株式会社
- 発注金額は、800万円
- (ちなみに、くにうみアセットマネジメント株式会社からは、1千万円の山鳥毛に対する寄附金を受領している)
- 委託事業の成果品として、アートからはじめる歴史と文化を活かしたまちづくりの基となる提案を受けた

国へ交付金を申請するタイミング・内示を受けたタイミング
いくらでも、報告のチャンスはあったはずなのに、8月議会まで相談がなかったことがそもそも議会軽視と言わざるを得ない！！

- 6月 国へ地方創生交付金活用事業を申請
- 8月2日 国より採択の内示
- 8月22日 総務文教委員会を開催
(しかし、8月議会招集後ということで、事前審査になるからと、審議せず)
- 9月11日 総務文教委員会開催
下記予算について、議論するが納得のいく説明は得られなかった
- 9月19日 予算委員会にて活発な議論が交わされ、採決の結果賛成8・反対8の同数となり、委員長採決で下記予算を削除する修正案が可決された
- 9月20日 本会議最終日 採決の結果は、前日の予算委員会と同様で、下記予算の削除が可決された
- 10月15日 総務文教委員会が開催され、下記予算が少し修正された内容での説明があった (P3 一覧表)
- 10月25日 臨時議会開催
予算委員会にて活発な議論が交わされ、採決の結果、賛成9・反対7となり、予算が可決された。
本会議にて、再度採決が行われ、賛成10・反対7で、予算が可決された。

8月議会提出予算概要

区分	事業内容	平成元年度	平成2年度	平成3年度	積算	支出方法
1. プロモーション事業	シティープロモーターを大阪・東京に配置し、市をPRしてもらいふるさと納税の増加を目指す 市の効果的な広報	600万円	1200万円	1200万円	1ヶ月50万円×2名 事務所費込み	人材派遣
	WEBデザイン	150万円	300万円	300万円	1ヶ月25万円	個人に委託
	広報編集補助	150万円	300万円	300万円	1ヶ月25万円	個人に委託
	カメラマン	100万円	200万円	200万円	1ヶ月16.7万円 臨時職員相当	個人に委託
	QRコード決済を活用した利用しやすいクラウドファンディング 1年目:検討 2年目:構築 3年目:運用 市ホームページ再構築 効果的なPRのためのクラウドファンディング用ホームページの再構築 ファンディング業務の実施	100万円	900万円	200万円		委託
2. 歴史・文化資源活用事業	アートファンド財団 1年目:検討 2年目:設立 刀剣・須恵器を活用した事業 歴史文化の活用ビジョン策定と資源の調査・取りまとめ 文化伝承のための拠点づくり	300万円	2000万円			出資金
	刀剣・須恵器を活用した事業	200万円	200万円			委託
	歴史文化の活用ビジョン策定と資源の調査・取りまとめ	200万円				委託
	文化伝承のための拠点づくり		300万円	300万円		補助金(100万円×3団体)
	文化・芸術団体への活動補助金		200万円			補助金(50万円×4団体)
経費	各年合計	1800万円	8600万円	3600万円		
	地方創生推進交付金	900万円	4300万円	1800万円		
	一般財源(税金投入分)	900万円	4300万円	1800万円		
	3年間総合計		14000万円			

令和元年第3回(8月) 定例会 賛否の公表 ○＝賛成 ●＝反対 欠＝欠席 ―＝議長職(議長は採決に加わりません)

議 案 名		議決 年月日	採決結果	日本共産党 瀬戸内市議員		改 革			公明党瀬戸 内市議員		鼎の会		瀬戸内市民の会			創流クラブ		無党派		賛成	反対
				厚 東 晃 央	島 津 幸 枝	廣 田 均	小 谷 和 志	日 下 敏 久	石 原 芳 高	河 本 裕 志	高 間 直 美	角 口 隼 一	布 野 浩 子	小 野 田 光	原 野 健 一	平 原 順 二	馬 場 政 教	竹 原 幹	日 下 俊 子		
議案第63号	令和元年度一般会計補正予算（第6号）に対する修正案について	R1.9.20	可 決	○	○	○	○	—	○	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	9	8
	令和元年度一般会計補正予算（第6号）の修正案を除く原案について	R1.9.20	可 決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16	1

くさかとしこの主張 ♡ -----

- ◆1 シティープロモーター1人月50万円二人分で、何を期待し、どれだけの効果が得られるのか明確な説明が得られなかった。
- ◆2 広報編集補助というものは、職員が市をPRするもので、委託には馴染まないし、人手が足りないのであれば、臨時職員を雇い職員と共に作り上げるべきものとする。
- ◆3 カメラマンがフォトライターに変わり、月25万円に報酬がUPされ、週に2回SNSに記事をアップする予算という説明だが、職員でできる仕事ではないか。
- ◆4 ホームページは直近に800万円かけてリニューアルしたばかりではないか。
- ◆5 市が骨董屋をするかのアートファンドがなくなり、財団法人だけが残ったかたちだが、どうやって設立後自立運営していけるのかが、まったく理解できない。
- ◆6 文化伝承のための拠点づくりだが、すでに様々な地域が市民活動応援補助金を使って頑張っている。数地区だけに、十分の十で補助金を出すことは、不公平を生じるのではないか。
- ◆7 文化芸術団体への活動補助金だが、不公平なしに仕分けできるとは思えない。地域の歴史と文化を活かすというのなら、もっと文化・歴史にける予算を増やすべき。

10月25日臨時議会 提出予算概要

区分	事業内容	平成元年度	平成2年度	平成3年度	積算	支出方法
1. プロモーション事業	シティープロモーターを東京に2人配置し、市をPRしてもらいふるさと納税の増加を目指す 市の効果的な広報	500万円	1200万円	1200万円	1ヶ月50万円×2名	人材派遣
	WEBデザイン	125万円	300万円	300万円	1ヶ月25万円	個人に委託
	広報編集補助	125万円	300万円	300万円	1ヶ月25万円	個人に委託
	フォトライター	125万円	300万円	300万円	1ヶ月25万円 1週間に2回SNSを発信する委託	個人に委託
	キャッシュレス決済を活用した利用しやすいクラウドファンディング 1年目:検討 2年目:構築 3年目:運用 市ホームページふるさと納税特設サイトホームページ再構築 ファンディング業務の実施	100万円	900万円	200万円		委託
2. 歴史・文化資源活用事業	財団法人 1年目:設立準備 2年目:設立 刀剣・須恵器を活用した事業 歴史文化の活用ビジョン策定と資源の調査・取りまとめ	300万円	2000万円			出資金
	刀剣・須恵器を活用した事業	200万円	200万円			委託
	歴史文化の活用ビジョン策定と資源の調査・取りまとめ	200万円				委託
	文化伝承のための拠点づくり		300万円			補助金(100万円×3団体)
	文化・芸術団体への活動補助金		200万円			補助金(100万円×2団体) 補助金(50万円×4団体)
経費	各年合計	1675万円	8700万円	3700万円		
	地方創生推進交付金	837.5万円	4350万円	1850万円		
	一般財源(税金投入分)	837.5万円	4350万円	1850万円		
	3年間総合計		14075万円			

くさかとしこの主張 ♡ -----

- 市長は、普段の予算では、不要不急の事業としてなかなか予算がかけられないところだからこそ、地方創生の交付金で文化・伝統を瀬戸内市のまちづくりに活かしていきたいということを述べられています。すばらしいことだと思います。
- しかし、今回の地方創生交付金で、文化・伝統の拠点づくり、活動助成として市民に届く予算は、1億4千万円のなかの、たった900万円です。この市民に届く予算がもっともっとあるべきだと思います。
- ホームページを再構築するというのなら、クラウドファンディングのホームページではなく、瀬戸内市の文化・伝統を市民に知ってもらうことができるホームページを作成すべきです。ホームページを見て、瀬戸内市の文化・伝統めぐりをしたくなるようなそんなホームページをつくるべきです。市と住民が一体となって作り上げるものにすべきです。
- せっかくの予算、もっと文化・伝統を本当の意味で瀬戸内市のまちづくりに活かしてもらうために、私は反対しました。今後は少しでも事業に活かしてもらえよう、私の意見を訴え続けていきます。

令和元年第4回(10月) 臨時会 賛否の公表 ○＝賛成 ●＝反対 欠＝欠席 ―＝議長職(議長は採決に加わりません)

議 案 名		議決 年月日	採決結果	日本共産党 瀬戸内市議員	改革				公明党瀬戸 内市議員		鼎の会		瀬戸内市民の会			創流クラブ		無党派		賛 成	反 対		
				厚 東 晃 央	島 津 幸 枝	廣 田 均	小 谷 和 志	日 下 敏 久	石 原 芳 高	河 本 裕 志	高 間 直 美	角 口 隼 一	布 野 浩 子	小 野 田 光	原 野 健 一	平 原 順 二	馬 場 政 教	竹 原 幹	日 下 俊 子			岡 國 太 郎	室 崎 陸 海
議案第76号	令和元年度瀬戸内市一般会計補正予算（第7号）	R1.10.25	原案可決	●	●	●	●	一	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	10	7	